富岡町生活復興支援おだがいさまセンター情報紙

みてやっぺ!

73号 2013.5.20発行

発　行 富岡町生活復興支援おだがいさまセンター
(社会福祉法人富岡町社会福祉協議会内)
連絡先 024-935-3332

～出会い100選～その21　林 裕樹さん

「こんにちは」と笑顔で、おだがいさまセンターに宏美夫人と共に現れる林裕樹さん。日に焼けた肌は、もうすっかり沖縄の生活に慣れた証拠…かと思うと「毎日富岡町をパソコンで見ている…」「家の前にバリケードが張られた。ショックだ!」と心は富岡を離れません。富岡町にいるころから彼を知っているセンターのスタッフは「裕樹先生」と林裕樹さんの事を呼びます。林裕樹さんは富岡町で、手話の先生だったからです。裕樹さんは聴覚に障害を持っています。奥さんの宏美さんも聾学校の後輩で、結婚して郡山市から富岡町に移った宏美さんは富岡町の図書館で臨時職員として働いたり、富岡高校の手話学習の講師を務めたり…富岡町にもすっかりなじんできた時の震災でした。

震災の時、二人はそれぞれの職場にいたため、そのまま、同僚などに導かれて避難したもののお互いの安否も居場所もわからず、耳からの情報が入りにくいため、何が起こっているかも正確にはわからず、当時、沖縄県の伊良部島にいたお母さん(林貴代子さん)とはメールが繋がったため、沖縄を通して連絡を取り、震災3日目にようやく夫婦が巡り会ったそうです。その後、心配で眠れなかったお母さんの所に避難し、今は沖縄で生活しています。当座は毎日「富岡に帰りたい。福島に帰りたい」と泣いていた裕樹さん。今は、沖縄で新しい人生を始めようかとようやく考え出したところだそうです。とはいえ、やはり、福島、富岡は、忘れられない故郷、折に触れ帰省しています。そして、帰ったときは必ず、おだがいさまセンターに明るい笑顔を見せてくれます。沖縄の宮古島に避難している双葉郡の方達の「虹の会」という会に参加して、避難生活を送る方達と励まし合っているということです。

新スタッフ紹介

5月からおだがいさまセンターの一員に加えさせて頂きました、佐藤友子と申します。チームワークと笑顔を大切にして、皆さんと一緒に頑張っていきたいと思いますので、宜しくお願い致します。

東北楽天ゴールデンイーグルス公式戦 観戦無料招待のお知らせ

6月15日(土)に、あいづ球場にて開催されるプロ野球イースタン・リーグ公式戦「東北楽天ゴールデンイーグルス 対 横浜DeNAベイスターズ　がんばろう東北デー in　会津若松」へ、**会津若松市内へ避難されている方々**を無料で招待します。当日は球場までの移動手段としてシャトルバスの運行を予定しております。

日時：6月15日(土)　11時開場　13時プレイボール

場所：会津総合運動公園あいづ球場　／　**対象：**会津若松市内に避難している方々

試合当日に球場正面付近に設置した引換所にて下記のどちらかを提示して頂き、チケットと引き換えて下さい。

- **避難証明書**
- **被災者証明書および会津若松市内での居住を証明できるもの**

お問い合わせ：楽天野球団 スタジアム部 地域復興グループ　西川 大治　050-5823-2676

いってやっぺみでやっぺ お知らせコーナー　5月下旬～6月上旬

● アートセラピー

日　時　6月2日(日) 13時～16時
場　所　おだがいさまセンター
問合せ　TEL:024-935-3332(おだがいさまセンター)

● アロマで手作りルームスプレー

日　時　6月4日(火) 10時～12時
場　所　いわき平交流サロン
材料費　500円程度
申込み　申込制(問合せ先へ)
その他　手作りルームスプレーでお部屋をさわやかに!
問合せ　TEL:050-3608-2864(いわき平交流サロン)

● フェージング(ガラスのペンダント)作り

日　時　6月12日(水) 10時～
場　所　いわき四倉交流サロン
参加料　500円
申込み　申込制
問合せ　TEL:0246-38-4355(いわき四倉交流サロン)

● 貝細工教室(白アサリ貝)

日　時　6月7日(金) 13時10分～
場　所　いわき泉玉露交流サロン
参加料　300円
申込み　申込制(15名)
問合せ　TEL:0246-38-4242(いわき玉露交流サロン)

● 喫茶つつじ(おだがいさまセンター)

日　時　5月30日
　　6月1日、6日、8日
　　(毎回午前10時～12時)

● お茶会(南一丁目応急仮設集会所(富岡側))

日　時　6月3日、4日、8日、10日、11日
　　(毎回午前10時～午後1時)

ソライチ

日時　6月1日(土) 10時～15時
場所　福島空港公園 エアフロントエリア
入場料　無料
問合せ　0247-57-4330(福島空港)

・富岡の方の作品も出展しますので是非見に来てください。

お詫びと訂正

72号のサロン紹介「泉玉露交流サロン」の開所時間の記載で“土日祝日も開所しています”となっておりますが、土日祝日の開所はイベントのある場合のみです。

訂正してお詫びいたします。

【発行】
おだがいさまセンター ODAGAISAMA CENTER
富岡町生活復興支援おだがいさまセンター
(社会福祉法人富岡町社会福祉協議会内)　場所 福島県郡山市富田町若宮前32(富田仮設住宅内)
電話 024-935-3332　FAX 024-935-3334　制作 バズ・クリエイターズ
ホームページ http://odagaisama.info/　ツイッター http://twitter.com/odagaisama QRコードはこちら
ホームページ　ツイッター

秋篠宮さまご来訪

5月10日(金)秋篠宮殿下ご夫妻が、富岡町社会福祉協議会おだがいさまセンターを訪問されました。

朝8時50分にご到着になり、遠藤勝也町長、宮本皓一議長のお出迎えをお受けになり、渡辺清治事務局長のご案内で、センター内の事務室で天野和彦センター長から富岡町の避難の状況やおだがいさまセンターの活動を、青木淑子アドバイザーから当日の活動内容の説明をお聞きになりました。

センターのサロンでは、郡山地区の4自治会の合同お茶会が開かれ、その中で、フラ教室の受講者の皆さんが「世界中の子ども達」というフラダンスをご披露しました。フラダンスは、避難所の時から支援をしてくださっている湘南の音楽家琢磨仁、啓子夫妻のオリジナル曲にフラの振り付けをしたもので、4月27日に江ノ島で行われた「1,000人フラ」というイベントで踊ってきたものでした。

秋篠宮殿下と妃殿下は、踊りを御覧になったあと、お茶会に集まった町民のテーブルを一つ一つ回られ、親しくお声をかけてくださいました。

富岡町と郡山地区の気温の違いや、運動不足になる町民の生活をご心配してくださったり、自治会長には「ご苦労をかけて・・・」と優しいお言葉をかけられ、フラダンスをご披露した皆さんには、歌詞やフラで表されている手話をお聞きになったり、それぞれおかけいただいたお言葉の温かさに感動していました。

センターの外にもたくさんの町民が集まり、両殿下をご送迎しました。予定時間を超えてのご滞在は、避難生活を続ける町民の心に大きな励ましを与えてくださいました。

工房・ものづくり 東京で出展

4月25日～27日に「届け!富岡のこころ」として、東京ビッグサイトで開催されたホビークッキングフェア2013に「おだがいさま工房」と「ものづくりの会」で出展してきました。ホビークッキングフェアは、日本ホビーショーと同時に開催され、3日間で来場者は12万人にのぼり、その規模の大きさは驚きでした。ショーの中では、被災地からの声を届ける時間も作っていただき、富岡町の「今」を発信してきました。

また、東雲(しののめ)住宅で生活している富岡のみなさんにもチケットを差し上げることができ、たくさんのみなさんにご来場いただきました。久しぶりの再会もあり、工房・ものづくりの取り組みを知ってもらうことができ、とてもよい機会となりました。また、一般来場者のみなさんには「がんばって下さい」「何かできればと思って」など、温かい言葉をかけてもらいました。工房・ものづくり共に、この経験を活かしさらによい製品を作り、今後も発信していきます。

湘南「1000人フラ100人ウクレレ」

地元の子どもたちと一緒に

4月27日(土)神奈川県藤沢市江ノ島にて、アースデイ湘南主催の「1000人フラ100人ウクレレ」が開催され、おだがいさまセンターでフラダンスを学んでいる6名の皆さんと、5組の家族総勢28名で参加させていただきました。このイベントは、以前から様々なご支援をいただいているアースデイ湘南の皆さんが、多くの地域に呼びかけ企画したものです。

当日は、お天気にも恵まれ、江の島のサムエルコッキング苑には、全国からたくさんの皆さんが集まり、富岡のみなさんも他のフラのチームの皆さんに負けない、すばらしい踊りを披露していました。

リアル野球盤リハーサル大会

試合前のルール説明の様子

静岡県島田市で活動する「NPOリアル野球盤協会」が、高齢者の方々の運動不足やストレスの解消につながると「リアル野球盤」を、4月29日(月)おだがいさまセンターに寄贈してくれました。それにともない、同日おだがいさまセンターで『リアル野球盤リハーサル大会』が、33名の参加で開催されました。

リハーサル大会では、ゲームの開始より一進一退の攻防を繰り広げ、各チームとも本塁打が乱れ飛ぶ打撃戦、和気あいあいの中にも白熱。手に汗握る大激戦を展開しました。

リアル野球盤協会から各チームのMVP選手に、サプライズでメダルが授与されました。さらに、本塁打を放った18名の選手にもささやかながらホームラン賞が贈られ、会場は感謝と称賛、笑顔と拍手で一杯になりました。

参加者から「こんどはいつやるの」「孫と一緒にやってみたい」「いろんなチームを作りたい」等の意見が殺到するほど大盛況のうちに終了しました。今後は、多くの方々に楽しんでいただけるよう、ご案内していきたいと思います。

母の日にプレゼント

緑ヶ丘仮設

南一丁目仮設

富田仮設

5月11日(土)和歌山県 JA紀州中央青年部から、郡山市内三ヶ所の仮設住宅にお住まいのおよそ880世帯に、スターチスの花束が贈られました。当日は紀州青年部の皆さんが来訪され、思いを込めたメッセージつきのお花を直接渡していただきました。

スターチスの花言葉は「変わらぬ心」。日頃お世話になっている母や祖母へ、感謝の気持ちを忘れず、今以上に家族愛を深めてもらいたいという願いが込められているというお話をいただきました。JA紀州中央青年部や管内の生産者の皆さんからは、以前よりガーベラや追悼式のお花など、ご支援いただいております。ありがとうございます。

皆さんは母の日に感謝の気持ちを伝えましたか?私たちも「変わらぬ心」で「希望」を持ち続け進んでいきましょう!

語り部育成事業 カナダ学生訪問

フラダンスを披露

5月8日(水)おだがいさまセンターにカナダトロントより、原子力工学を学んでいる学生7名が訪問し、震災前、震災後の富岡町についてや、富岡町民の現在の状況などについて話を聞き、その後富岡の皆さんによるフラダンスに大満足の様子でした。

語り部育成事業 原爆文学研究会

4月28日(日)1時半から3時まで、おだがいさまセンターに原爆文学研究会の方が29名で視察にみえました。センターの青木淑子アドバイザーの説明を受け、福島大学人間発達文化学類の高橋由貴さんをはじめ皆さん、原発事故による富岡町民の現状と課題について自らの問題として考えていくことを誓っていました。

いわき交流サロンでエステ

日頃の疲れを取っていただきたいとの思いで、5月11日(土)にいわき平交流サロン、四倉交流サロン、12日(日)は泉玉露交流サロンで株式会社ナリス化粧品の皆さんによるエステが行われました。超音波によるエステ、ハンドマッサージ、ネイルと参加された皆さんには癒しの時間が流れていきました。どんどん美しくなっていく自分を見て「うっとり…」。

素敵に仕上がりました

南一丁目青汁配布

5月4日(土)に郡山市の南一丁目応急仮設住宅「あさかの杜ゆふね」にてアサヒ緑健さんによる緑効青汁のイベントが開催されました。人気時代劇・水戸黄門の飛猿役でお馴染みの俳優 野村 将希さんより、鯉のぼりと青汁が仮設住民の方一人一人に手渡されました。握手やサイン、写真撮影と野村さんとの交流と青汁の効能とで、皆さん心身ともに元気をいただきました♪

野村 将希さんと記念撮影

FM便り

5月3日(金)にGW特別番組『ゴールデンウィークもおだがいさま』をお送りしました。今回の特番では日本全国にお住まいの富岡町民6名の方に電話を繋ぎ、現在の生活について伺ったり、町民の方へメッセージを頂いたりしました!電話中にほっこりする場面があったり…(^^)♡

他にも富岡町でポピュラーというからみ餅も食べました♡タブレット端末にも配信されていますので、まだ聞いていない方は是非聞いてみてください!!

そして6月21日(金)にも特別番組をお送りしますのでお楽しみに☆

メッセージ受付中!
郵便 〒963-8041 郡山市富田町字若宮前32「おだがいさまFM」宛
FAX 024-935-3334 メール 『おだがいさまFM』HP内のメールフォームからお送りください!
HPアドレス→http://odagaisama.info/

おだがいさま工房便り

4月25日(木)からの3日間、東京ビッグサイトで開催されたアジア最大級の手づくりホビーフェア「ホビークッキングフェア」に出展してきました!全国各地から集まった個人・団体・企業の多種多様な出展。東京に避難されている富岡町の方もたくさん来て下さいました。製品の説明を熱心に聞き入るお客さんが多く、接客を通して直接触れ合うことで、私達のふるさとへの想いを伝えてくることができました。

丁寧な製品説明

たくさんのお客さん

おだがいさまファーム通信

畑では、暖かな陽気に誘われて、野菜が芽を出し始めました。

山の木々が緑鮮やかになるのと同時に、気温が上がると畑の植物たちも見違えるほど元気になってきています。

今年度も、畑隊は皆さんと楽しく活動していこうと考えています。土いじりをしたい方、興味のある方はぜひ、おだがいさまセンター(024-935-3332)にご連絡ください。

見事な玉ねぎができました

生涯学習 一閑張り教室

5月12日(日)、おだがいさまセンターにおいて、平成25年度第1回目となる生涯学習の一閑張り教室が開 催されました。講師は鎌田光利さんご夫妻。約15名の参加者は、竹細工のざるや籠などに工夫を凝らしながら古文書や色彩豊かな和紙を貼り、柿渋を塗って仕上げました。日本の伝統文化を味わいながら、互いにアドバイスし合ったり、楽しい会話に花を咲かせたりして、和やかなひと時を過ごしました。

この教室は、伝統工芸作りを通して暮らしに楽しみを見出したり、仲間との交流を育むことを目的に、今後も毎月継続的に開催します。興味を持たれた方は、お気軽におだがいさまセンター(024-935-3332)までお問い合わせください。

先生にアドバイスを頂く

大勢の方が熊耳に集結

5月11日(土)熊耳応急仮設住宅でLOVE FOR NIPPONによるイベントが開催されました。

あいにくの天候でしたが、大道芸にライブ、BBQ、マッサージなどの盛りだくさんの内容で、三春近隣の仮設からもたくさんの住民の方々が参加し、楽しんでいました。

夜にはキャンドルジュンさん(キャンドルアーティスト)のキャンドルナイトも行なわれ、幻想的な雰囲気の中でそれぞれが深い「思いの時」を持ちました。

また、一時雨足が強まったものの、キャンドルが点灯されると降り続いていた雨が止みました。11日は震災から2年と2ヶ月…。今まで降っていたのは「雨」ではなく「供養の涙」だったのでは…という声も。訪れた皆さんの記憶の中に残る忘れられない1日になりました。

多くの方が来てくれました